

一般財団法人東海テレビ国際基金 2022年度事業報告書

(2022年4月1日～2023年3月31日)

国際理解促進のため、より有意義な事業を効率的に実施して、目的を達成するよう努めた。

1. CSR推進事業 (定款 第4条第1項第3号)

「多文化交流プログラム」の実施

国際基金の自主的事业として、前年までの映像事業に代わり、新たに「多文化交流プログラム」を実施した。外国人高校生や学生が、多言語に翻訳された東海テレビ制作のニュース番組「NEWS ONE」を視聴し、伝統文化に関する意見交換をするとともに、ワークショップを体験して身近なSDGsへの関心を高めた。

7月は、外国人および日本人の高校生約40名が、環境・自然問題をテーマにした「食糧危機を救うコオロギ」という企画ニュースを視聴し、昆虫食の未来を考えるとともに、SDGs的な観点からの多彩なアイデアを出し合い、グループディスカッションを行った。

12月は、学生15名が「フラワーロス」をテーマに、規格外のバラを用いた花束交換やワークショップを体験して、規格外の花とゴミの問題を話し合った。

(2022年7月・12月実施 決算273万9000円)

2. 助成事業 (定款 第4条第1項第2号)

(1) 「伊賀市国際交流フェスタ2022&IIFAフォトコンテスト」への助成

伊賀市国際交流協会主催。外国の食、物品の販売ブースや音楽、舞踏のステージを通じて、伊賀市在住の外国人と地域住民との国際交流や多文化共生の理解を深めた。

(2022年10月3日～12月23日実施 決算15万円)

(2) 「産業革命と日本の近代化の歴史を学ぶ英国代替研修」への助成

NPO法人「知多から世界へ」の主催。知多地域の英国派遣研修事業の対象者9名
の中学生が、国際理解と国際感覚を高めるために、JR東海初代社長や海外派遣協

力隊の代表者、S級通訳士などによる講演を聴講し、カードゲーム体験を通じてSDGsを学んだ。

(2022年8月2日～3日に実施 決算13万円)

(3) 「とよはしインターナショナルフェスティバル2022」への助成

豊橋市国際交流協会主催。豊橋市と周辺地域に在住する外国人住民との相互理解と交流を深めるため、音楽演奏や民族舞踊などのステージショー、国際交流のパネル展などを行った。

(2022年11月6日実施 決算10万円)

(4) 「第40回全日本中国語スピーチコンテスト」への助成

江蘇人民対外友好協会主催の日中国交正常化50周年記念事業。県内在住の日本人70名が参加した中国語のスピーチコンテスト。中国語の普及を通じて、日中友好の増進と国際理解を深めた。

(2022年10月29日実施 決算7万5000円)

(5) 「鈴鹿国際交流フェスタ2022 わいわい春まつり」への助成

鈴鹿国際交流協会主催。各国の舞踊や国際交流団体の活動紹介などを通じて、外国への関心を広げ、日本人と在住外国人との交流を深めることで、国際協力、多文化共生を推進した。

(2022年4月24日実施 決算15万円)

(6) 「大府市国際交流協会創立30周年記念イベント」への助成

同協会30年の歩みを振り返るセレモニーを行うとともに、子供たちをターゲットに世界の遊びを紹介したり、キッチンカーで世界の食を提供したりすることで、国籍を問わず、市内や近郊の住民に多文化共生の意識を高めてもらった。

(2023年1月22日実施 決算5万円)

(7) 「ワールド・コラボ・フェスタ2022」への助成

愛知国際交流協会ほかの主催。市民、NGO・NPO、企業、行政が協力して、世界各国の歌・踊り・楽器演奏のパフォーマンス、多文化共生のトークイベントなどを通じて、中部地域の国際交流・国際協力・多文化共生の活動を広げ、「学び、考え、行動する場」をつくりあげた。

(2022年10月22日～23日実施 決算20万円)

(8) 「きよす国際交流まつり」への助成

清須市国際交流協会主催。外国人および留学生と市民が参加し、各国の料理・舞踊・音楽などの紹介を通じて、市民との交流を図り、国際交流活動の進展を図った。

(2023年2月23日実施 決算10万円)

(9) 「あいち国際女性映画祭2022」への助成

中部圏唯一の国際的な映画祭。世界で活躍する女性監督等を招待し、様々なテーマの作品を上映するとともに、シンポジウム等によって、映像文化を通じて女性の社会進出の支援や国際交流の推進を図った。

(2022年9月8日～11日実施 決算15万円)

(10) 「国際交流・国際協力・NGO 入門講座」への助成

運営母体は、特定非営利法人名古屋NGOセンター。世界で起こっている様々な課題や問題を参加体験型形式で話し合うことで、持続可能な社会づくりの担い手を育成するオンライン形式のセミナーを実施した。

(2022年8月6日～2023年1月21日に計4回実施 決算7万5000円)

(11) 「第13回東三河日本語スピーチコンテスト」への助成

東三河5市合同の実行委員会主催。5市(豊橋・豊川・蒲郡・新城・田原)に在住する外国人市民による日本語スピーチコンテストを通じて、地域の多文化共生理解を深め、国際交流の推進を図った。

(2023年1月29日実施 決算10万円)

(12) 「三浜会館アートまつり2022 国際交流・多文化共生ブース」への助成

四日市市文化まちづくり財団主催。市内在住の外国人および日本人の子供たちが、フェイスペイントやペットボトル投げ、各国にちなんだクイズなどのイベントに参加し、お互いが交流することにより、多文化共生社会の理解と国際交流を深めた。

(2022年11月13日実施 決算8万円)

(13) 「国際芸術祭あいち2022」への助成

「国際芸術祭あいち2022」組織委員会の主催。国内外からの気鋭アーティスト80名余りが、最先端の現代美術を国内外に発信することにより、世界の芸術の発展に貢献すると共に、地域の文化芸術活動の活発化を図った。

(2022年7月30日～10月10日実施 決算20万円)

(14) 「小牧市国際交流ふれあいフェスタ」への助成

小牧市国際交流協会主催。各国の舞踊等の舞台発表や各国料理の屋台、外国人が母国を紹介するカフェ等、多種多様なプログラムで国際交流の推進を図った。

(2023年1月22日実施 決算20万円)

(15) 「第27回国際交流フェスティバル」への助成

江南市国際交流協会主催。外国の踊りや楽器演奏、日本文化の体験などを通じて、

地域の日本人と在住外国人がお互いに交流親善を深めた。

(2022年8月21日実施 決算10万円)

(16) 「象の輪を繋げていこう」への助成

国際児童画協会 (IKA) の主催。子供たちが大好きな象をテーマにして「地球環境」を考え、世界各国の生活・文化についての絵画や絵本の展示などを通じて、国際理解を進めた。

(2022年4月23日～27日実施 決算10万円)

(17) 「世界を遊ぼう！フレンドシップフェスティバル2022」への助成

一宮市国際交流協会主催。国際交流、国際理解の推進と啓発を図る目的で、大人も子供も気軽に楽しめるクラフト体験や、世界8カ国のアーティストによるステージパフォーマンスを展開し、6000名余りが参加した。

(2022年9月24日～25日実施 決算15万円)

(18) 「姉妹都市提携周年記念講座」への助成

名古屋市友好姉妹都市協会主催。メキシコ市(45周年)およびランス市(5周年)との姉妹都市提携周年記念事業として、「メキシコ・ランス グルメ講座」を開催。各姉妹都市の名産品や文化の紹介を通じて、姉妹都市への関心を深め交流を盛り上げた。

(2022年6月5日実施 決算20万円)

(19) 「ウクライナ人道支援チャリティコンサート」への助成

「ウクライナ人道支援揖斐川町チャリティコンサート」実行委員会主催。ウクライナ人道支援のために、日本在住のリトアニア人、ウクライナ人および日本人の演奏家によるチャリティコンサートを開催し、その収益金の全額を日本ウクライナ芸術協会を通じて「国際NGO ADRAウクライナ」へ寄贈した。

(2022年6月4日実施 決算20万円)

(20) 「外国人による日本語スピーチ大会」への助成

伊勢市国際交流協会主催。県内在住の外国人応募者から選ばれた10名による日本語のスピーチを通じて、市民の異文化理解と国際感覚の醸成を促した。

(2022年12月3日実施 決算6万円)

●新型コロナ感染の影響等のため、助成予定であった25団体の事業のうち、以下の5団体の事業が中止となり、助成金は支払われなかった。(合計45万円)

(1) 「外国人と日本人親子のためのアートプロジェクト」への助成

瑞浪市内その近郊在住の外国人の子供たちに日本語や日本の文化を教えることを目的とした非営利団体『ニホニコ』主催。日頃関りが希薄な外国人と日本人が、写真や絵画などを通じて互いを知る機会を作ることで住民同士の精神的な軋轢を解消することを目指す。

(2022年11月～12月実施予定→中止 予算13万円)

(2) 「第15回TIRA国際スポーツ交流会」への助成

豊明市国際交流協会主催。運動会形式の防災訓練を行うなど、スポーツを通じて、豊明市民と外国市民の交流を図り、より良い豊明の街づくりを目指す。

(2022年6月12日実施予定→中止 予算6万円)

(3) 「KIFAMIGO 2022」への助成

亀山国際交流の会発足20周年記念事業。日本語お話会で外国人住民の意見を聞いたり、外国人のダンスや歌の披露などで異国文化に触れたりすることで、多文化共生意識の向上の機会を作る。

(2023年2月12日実施予定→中止 予算6万円)

(4) 「第6回ガーナにAEDを贈り救命救急を伝える」への助成

NPO法人HIROYA基金主催。救急医療の遅れているガーナにAEDを寄贈し、現地で一般市民や子供たち、医療従事者に一次救命を伝えることにより、ガーナの救命率を上げる。

(2022年11月実施予定→中止 予算10万円)

(5) 「2022年度 CISV国際交流プログラム ビレッジ日本大会」への助成

世界10カ国から11歳の青少年が集い、1か月間の国際交流キャンプに参加することで、人種や国籍を超えた友情を育み、国際平和に貢献する人づくりを行う。

(2022年7月31日～8月27日実施予定→中止 予算10万円)

助成事業 合計 257万円 事業費 合計 530万9000円

3. 役員会等に関する事項

① 理事会

第25回 2022年5月

議事事項	2021年度事業報告案承認の件	可決
	2021年度収支決算案承認の件	可決
	2021年度公益目的支出計画 実施報告案承認の件	可決
	第12回評議員会開催の件 6月2日開催について	可決

第26回 2022年6月 書面決議

議事事項	代表理事、業務執行理事選任の件	可決
------	-----------------	----

第27回 2023年3月

議事事項	2023年度事業計画案承認の件	可決
	2023年度収支予算案承認の件	可決

② 評議員会

第12回 2022年6月

議事事項	2021年度事業報告案承認の件	可決
	2021年度収支決算案承認の件	可決
	2021年度公益目的支出計画 実施報告案承認の件	可決
	役員選任の件	可決

4. 役員に関する事項

2022年6月

理事の選任

石田 暢夫(重任)	小島 浩資(重任)	郡 健二郎(新任)
新開 輝夫(重任)	祖父江 茂樹(重任)	御園 慎一郎(重任)
森 正夫(重任)	ロバート・キサラ(重任)	

(退任 富永 祐民)

監事の選任

近藤 克磨(重任) 西村 眞(重任)

代表理事の選任

小島 浩資

業務執行理事の選任

祖父江 茂樹

以 上